

ホルンの室内楽Ⅳ
BABORÁK ENSEMBLE

バボラーク・アンサンブル

世界最高峰のホルン奏者ラデク・バボラーク。
親友たちと20年以上活動するバボラーク・アンサンブルが
新進気鋭、19歳のテオドシエフとおくる、2本のホルンのための室内楽。
バボラークが奏でる、ターナー（ホルン奏者でもある）の
作品も聞きどころ！

ラデク・
バボラーク
（ホルン）

11/22²⁰²⁵（土）
14:00開演

テレマン：
2つのホルンのための協奏曲
変ホ長調（ターフェルムジーク第3集より）★

リスト（バボラーク編）：悲しみのゴンドラ 第2稿

ロバート・ハンセン（バボラーク編）：
弦楽と2本のホルンのための交響組曲★

ケリー・ターナー：
ホルンと弦楽のためのソナタ

バボラーク・
アンサンブル

マルティナ・パチョヴァー／
高橋紘子（ヴァイオリン）

カレル・ウンターミューラー（ヴィオラ）
ハナ・バボラコヴァ（チェロ）

ベートーヴェン：
六重奏曲 変ホ長調Op.81b★

★テオドシエフ出演曲
※当初発表の曲目から一部変更となりました。



2023年度公演より ©大窪道治

ビクトール・
テオドシエフ★
（ホルン）

バボラークが見出した19歳の天才！

25歳以下ならS席でも¥1,500！

全席指定 S席¥6,000 A席¥5,500 B席¥3,500 U25¥1,500（25歳以下） 2025年5月28日（水）11:00～ 一般発売開始

お申込み・お問い合わせ

◎トリトンアーツ・チケットデスク TEL:03-3532-5702（平日11:00～17:00） <https://triton-arts.net>

◎チケットぴあ（S席、A席、U25のみ取り扱い） <https://t.pia.jp/>

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※表示価格には消費税を含みます。※やむを得ず、演奏曲目、曲順、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール 協賛：第一生命保険株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

第一生命ホール
（晴海トリトンスクエア内）



ご予約はこちらから

BABORÁK ENSEMBLE

その美しく柔らかな音色と超絶技巧で「ホルンの神さま」と呼ばれ、「バボちゃん」の愛称でも親しまれるバボラーク。元ベルリン・フィルのホルン奏者であり、協奏曲のソリスト、指揮者としても活躍することから大ホールの舞台の印象が強いバボちゃんですが、親友たちと20年来続けるこの「バボラーク・アンサンブル」では、贅沢にも、親密な空間で室内楽の中でのバボラークのホルンを堪能することができます。バボラークが「ホルンに完璧な音響」と評する第一生命ホールでは、これまでも様々なプログラムをお届けし絶賛されてきましたが、今回はなんとといっても、自ら見出した19歳のテオドシエフと共演する、2本のホルンのためにベートーヴェンが書いた六重奏曲が聴きどころ。当代のホルン奏者であり作曲家でもあるターナーが書いたホルンと弦楽四重奏のための作品も必聴です。ホルン好き、室内楽好きなら聴き逃せないプログラム。

BABORÁK

ENSEMBLE

バボラーク・アンサンブル

Baborák Ensemble

ラデク・バボラーク (ホルン)

Radek Baborák, horn

マルティナ・バチョヴァー (ヴァイオリン)

Martina Bačová, violin

高橋 紘子 (ヴァイオリン)

Takahashi Hiroko, violin

カレル・ウンターミューラー (ヴィオラ)

Karel Untermüller, viola

ハナ・バボラコヴァ (チェロ)

Hana Baboráková-Shabuová, cello



2023年度公演より ©大塚道治

ホルン奏者、指揮者のラデク・バボラークにより創設。アンサンブルの主な編成はフレンチホルンと弦楽四重奏だが、各作品のスタイルに応じて形を変えている。2016年に行った日本ツアーは、モーツァルト・プログラムで全国各地を席巻、NHKでもテレビ収録された。2018年にも再び来日、好評を博した。ブラハの春音楽祭、スメタナ音楽祭、ヤナーチェク音楽祭、ベルリンのブレーズ・ザール等からも定期的に招かれ、ブラハの聖アグネス教会ではレジデントアーティストを務めた。ピアソラなどダンス音楽を中心としたプロジェクト“ORQUESTINA”はベルリン・フィルハーモニーの室内楽ホールが熱狂に包まれた。モーツァルト・アルバム、ピアソラ作品集などCDリリースも多い。最新盤はホルンと弦楽四重奏のためのブラームス、グラスノフ、シベリウス作品集。

ラデク・バボラーク (ホルン) Radek Baborák, horn

1976年チェコ生まれ。94年にミュンヘン国際コンクールで優勝、「美しく柔らかな音色」、「完璧な演奏」、「ホルンの神童」と評される。小澤、バレンボイム、レヴァインなどトップクラスの指揮者の信頼も厚く、ソリストとしてベルリン・フィルはもちろん、ウィーン・フィル、バイエルン放送響等と圧倒的な名演を残し続けている。これまでチェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク響、ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者を歴任。さらに、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管をはじめとする世界のオーケストラにも参加。近年は指揮者としての活躍も目覚ましく、チェコ・シンフォニエッタを創設。ヨーロッパや日本での客演も重なる。山形交響楽団ミュージック・パートナー、西ボヘミア交響楽団首席指揮者。



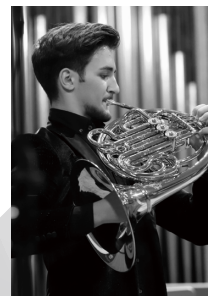
© Lucie Cermakova

ビクトール・テオドシエフ

(ホルン)

Victor Teodosiev, horn

2005年音楽家一家に生まれる。父、祖父はホルン奏者、母はフルート奏者。ラデク・バボラーク、アルカディ・シルクローパー等のマスタークラスに参加。母国ブルガリア、ロシア、アメリカ、フランスなど数々のコンクールで優勝。ソリストとして国内外のオーケストラとの共演、室内楽での演奏も高く評価され、注目を集めている。



過去のバボラーク・アンサンブル公演アンケートより

天才バボちゃんのホルンをお目当てにきましたが、ホルンだけでなく、弦楽器の音色もどれも素晴らしく、大変美しい響きでずっと聴いていた演奏でした。

やわらかく包み込んでくれるような音色は美しく、とても心地よさを感じました。ほかの弦楽器メンバーの清らかで調和のとれた演奏も素晴らしかったです。

バボラークさんの技術に感銘を受けました。テンポの速い曲での技術は言うまでもありませんが、ゆったりとした曲でこそ真髄が感じられると思いました。

バボラークさんの音を頭に沁み込ませ、この音に近づけるようにがんばりたいです。楽器のカバーケースにサインをもらえるように練習がんばります。(小学5年生)

また、バボラークさんのコンサートを開いてほしい！今回、CD売り切れて、バボラークさんのサインもらえず残念無念でした。コロナを経て、更に進化されているのに驚き、感動しました。

会場までのアクセス

- 都営大江戸線 「勝どき」駅 A2a出口 徒歩8分
- 有楽町線・都営大江戸線 「月島」駅 10番出口 徒歩15分
- 都営バス 「都03」「都05」「東15」「錦13甲」系統 利用可
- 晴海トリトンスクエア内 有料駐車場あり